

棋家の文章など

三好達治

青空文庫

棋客の前田陳爾さんに近づきはないが、その囲碁批評はいつも面白く拝見してゐる。なかなかの文章家で、評語は私どもには高遠にすぎることがたいいのやうだが、読ものとして面白く拝見するのを常としてゐる。同じ棋客の向井一男さんなんかも名文家のやうである。故人の久保松機山なんかも、これはもう一そう文章家であつたかも知れない。一芸に秀でた人物必ずしも筆がたつとは限らないが、一つことに精根をつくしたこれらの人々の文章には、どこやら用意と反省の行とどいた跡がほのみえ、文筆家といふではなくとも——それだからさらりとしてゐて、その風味の格別なのが好ましくうけとられる。

売文家の文章はそれはそれなりにまた格別の用意を蔵してゐて、それも結構といつておくより外はないけれども、詩家の詩書家の書好ましからず、と良寛さまいはれたやうに、鼻につくことがないでもない。糊口家業はしがないもので、いたしかたのないことかと領解される。

するとまた、書家の書好ましからず、と墨象一派の新書道家がご都合よろしくこれを楯にとらうとする。それはひどいよと、先日私も私はひとり呟きすてたが。

ラチオなどで聞く政治家の演舌俳優の口跡、いづれも腑に落ちかねるものが多い。唐突な比較だが、いつぞや白洲正子さんもそ

れをいつてゐられたやうに、相撲放送の解説者はまことに好ましい音声を聞かしてくる。力技者らしい風格の発声で、解説も自信に満ちてゐる。大山親方は模倣のできない声を出し、神風さんは私にとつては郷音でなつかしい。私は場所になつてそれを聞くのを消閑の樂しみとしてゐる。

比べていふと、野球放送の方も結構面白いが、滋味においていづらか聞き劣りがするやうである。何と申しませうかの小西節は、抑揚があつて流暢、私も傾聴者の一人であるが、どういふわけか小西さんは、走者がたとへば二塁盗塁に失敗したやうなときに、「得点のきずなを失ひましたね」といふ風に聞きとれることをいはれる。

小西さんの影響だらうが、私は近ごろ他にもこの種の「きぎずな」を、活字の上に二三度見かけた。私の聴き違ひでなければ、御訂正をここにちよいとお願ひしておきたい。

棋家の文章とお相撲さんの解説、二つのものが、今夕灯下に私の連想にのぼつたのは、偶然であつたが、両者にどこやら、うまうまはいひにくく共通点がありさうな風にも思はれる。いづれも限られた領分に属するものだが、領分内でははなはだ落つきよく感じられるからである。前田八段の文章は、くねくねとくねりの多い、饒舌体のスタイルだが、その癖羽目をはづさない要領のよさは、いや失礼、碁打ちには過分のくらゐのものに思へることがし

ばしばである。この棋家は、詰碁作者として稀世の著想家とか聞く。手品のやうにあのむつかしい問題をひねり出せるのであるから、よほどの丹精家に違ひない。くねくねとくねりの多いスタイルはいはば上べの洒落つ気で、心棒はほかにかくれてゐるのがあのおしやべりに違ひない。

詰碁の出来栄えは、いつかう私には解らない。めつたに解けたためしがないからである。ただし、ビールを一杯、睡眠剤を数錠、それからあれをながめてゐると私にはたいそう効果がある。それでもたまには、やさしいのは解けることもあつて、そんな時はまたたいそう効果がある。橘中の遊びは、むだごとのやうでも、む

だごを以て、寝つきの悪いむだな時間を助けることもできるから、奇妙なものだといふべきだらうか。

お相撲さんも碁客先生も、あのやうな仕事に一生をかけて熱心なのは、どういうわけか、感心なことのやうにも、不思議なこと
のやうにも、少し空恐ろしいくらゐのやうにも、私には想像され
ることがしばしばだが、そんな時には、自分のことをとんと失念
してゐるのを忘れてゐるのが常である。

青空文庫情報

底本：「日本の名随筆 別巻1 囲碁」作品社

1991（平成3）年3月25日第1刷発行

底本の親本：「三好達治全集 第一〇巻」筑摩書房

1964（昭和39）年12月

入力：門田裕志

校正：noriko saito

2015年1月16日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www>

W.aozora.gr.jp/) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランテイアの皆さんです。

棋家の文章など

三好達治

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>